

衆議院大阪府第11選挙区支部長
大阪府議会議員

中司宏

なかつかひろし

大阪の明日を拓き 日本の未来を守る



国を先取りして、新型コロナウイルス感染症拡大の抑制と経済活動の再生に全力を尽くす、大阪府知事の吉村洋文副代表。

日本維新の会はこのほど、大阪府議会議員(大阪維新の会所属・枚方市選出)の中司宏氏を衆議院大阪府第11選挙区(枚方市・交野市)支部長に決定しました。

中司宏氏は、現在府議4期目で、吉村洋文知事を支え、府民の命と生活を守るため全力で新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。

両親は交野市の出身であり、生まれ育った愛するふるさと枚方・交野の未来を切り拓くとともに、維新の改革で大阪から日本を変えるため、維新の会メンバーと力を合わせて頑張っています。

本号外は、中司宏第11選挙区支部長の活動を中心に維新の会の取り組みを掲載しています。

日本維新の会 / 大阪維新の会 枚方市・交野市 市長・府議団・市議団

新型コロナ
対策に全力

感染拡大防止と社会経済活動を両立し

医療面・経済面から命を守る!



枚方市長 伏見 たかし



大阪府議会議員 岡沢 龍一



大阪府議会議員 みよし かおる



枚方市議会議員
岩本 ゆうすけ



交野市議会議員
岡田 ともまさ



枚方市議会議員
せのお 正信



枚方市議会議員
かじや 知宏



枚方市議会議員
いずみ 大介



枚方市議会議員
岡本 えいじろう



枚方市議会議員
かど の ひろゆき



枚方市議会議員
こいけ あきこ



交野市議会議員
うすぐち 誠三



交野市議会議員
いさき 太陽

「いのち」を最優先に国を先取りコロナ対策

- ・新型コロナウイルス感染症については、今後、第2波の到来が予想され、府民・市民の生活や事業活動への影響が長期化する恐れがあることから、感染拡大防止はもちろん、新しい生活様式への対応など安心安全につながる対策を継続して進めていかなければなりません。
- ・日本維新の会国会議員団では、これまで政府に対し、5回にわたって地方創生臨時交付金の充実など新型コロナウイルス対策に関する提言書を提出し、迅速な対応を求めてきました。
- ・大阪府では、吉村知事が、府民の命を守ることを最優先に、「大阪モデル」を策定し、国を先取りした対策を進めてきました。中司府議はじ

- め維新の会府議団は、今後も感染拡大の防止と経済活動の再生に力を尽くす吉村知事を全力で支えています。
- ・枚方、交野両市においては、この間、各種団体との意見交換や地域の皆様からの相談などを通じて、コロナウイルスの影響や、行政の支援等についてご意見や課題をお聞きし、議会質問や府・市への要望を行うことで、対策の充実・強化に取り組んできました。
- ・その一環として、伏見枚方市長と黒田交野市長に、相談体制の充実や市独自の支援策の創設などの要望書を提出し、迅速な制度の拡充や予算措置につなげました。



国会議員団で政府に提言書を提出



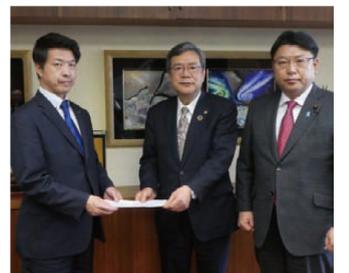
各種団体とコロナ対策について意見交換



コロナに便乗した悪徳商法から高齢者を守るよう質問する中司府議



府議会で決意を述べる吉村知事



伏見枚方市長に要望書を提出

府市一体で迅速にコロナ対策「大阪都構想」の必要性を再認識

大阪における新型コロナウイルス対策は、府と大阪市が一体となって取り組んだことで、国に先んじて迅速・適切な対応を行うことができました。こうしたことから、府民の命に係わる危機管理面においても、府と大阪市を合体し大阪市を4つの特別区に再編する「大阪都構想」の必要性が再認識されています。

豊かな大阪、東西二極の一極を担う「副首都・大阪」を実現するためには、持続的な成長・発展の基盤となる「大阪都構想」が不可欠です。

6月19日の法定協議会で「大阪都構想」の制度案(協定書)が可決され、今後は、新型コロナウイルスの感染状況を見極めながら、11月1日の住民投票実施をめざし、全力で取り組みます。



法定協会で都構想の制度案が可決

第2波に備えて対策を充実・強化重症センター新設等に4300億円

吉村知事は、7月1日、新型コロナウイルス対策をさらに充実・強化するため、約4300億円の追加補正予算を専決処分しました。

主な内容は、全国初の重症患者専用の臨時医療施設「大阪コロナ重症センター」の新設をはじめ、PCR検査など検査体制の充実、府独自の休業要請外支援金の事業費の増額などです。

府はこれまで大阪維新の会府議団の要望等を受けて6回にわたってコロナ対策の補正予算を組んでおり、合わせて約9000億円に上ります。

今後も、懸念される第2波に備えて、いのちと生活を守り、社会経済を支える取り組みをさらに進めていきます。



コロナ対策の充実について大阪維新の会府議団から吉村知事に要望

危機管理体制の強化へ府内消防の広域・一元化を

7月の九州豪雨は甚大な被害をもたらしましたが、高齢化が進む中で、新型コロナウイルスへの対策と同時に、大規模災害にも十分に備えなければなりません。危機管理体制を強化するには、府内全域において消防救急の指揮命令系統を一本化する必要があることから、大阪維新の会では、府内消防組織の一元化をめざしています。

府内には現在27の消防本部がありますが、交野市消防本部のような管内人口10万人未満の小規模消防本部では、増大する救急需要や災害への対応、財政負担など課題が山積しています。

そこで、枚方寝屋川消防組合との統合による広域化や府内消防の一元化の進捗について、総務常任委員会で中司府議が質問しました。



消防の広域・一元化について委員会で質問



大阪維新の会府議団から府教育長に対し、新型コロナウイルス感染症対策における学校教育への人材支援や財政的支援、オンライン授業への環境整備など11項目の緊急提言を行いました。



中司府議が会長をつとめる私学振興議員連盟に対し、私立中学校高等学校連合会、私立中学校高等学校保護者会連合会、私立小学校連合会から、新型コロナウイルス感染症対策に関する要望を受けました。



松井一郎大阪市長の呼びかけに応じて、台湾の全球台湾医衛総会から寄贈された医療支援物資(雨合羽1万枚とフェイスシールド1千枚)を、大阪市役所にトラックで運び込みました。



枚方市



交野市

枚方市、交野市の大阪維新の会所属 府議・市議と、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ地域が抱える課題など、府や国に対する要望事項について協議しました。

中司宏の主な経歴

府立寝屋川高校、早稲田大学を卒業後、産経新聞政治部記者、枚方市長等を経て府議会議員。この間、全国青年市長会会長、大阪府市長会会長、大阪維新の会副政調会長、大阪維新の会府議団政調会長、府議会私学振興議員連盟会長、新名神促進議員連盟会長、日本維新の会枚方支部長等を歴任。



WEBサイト



Facebook

